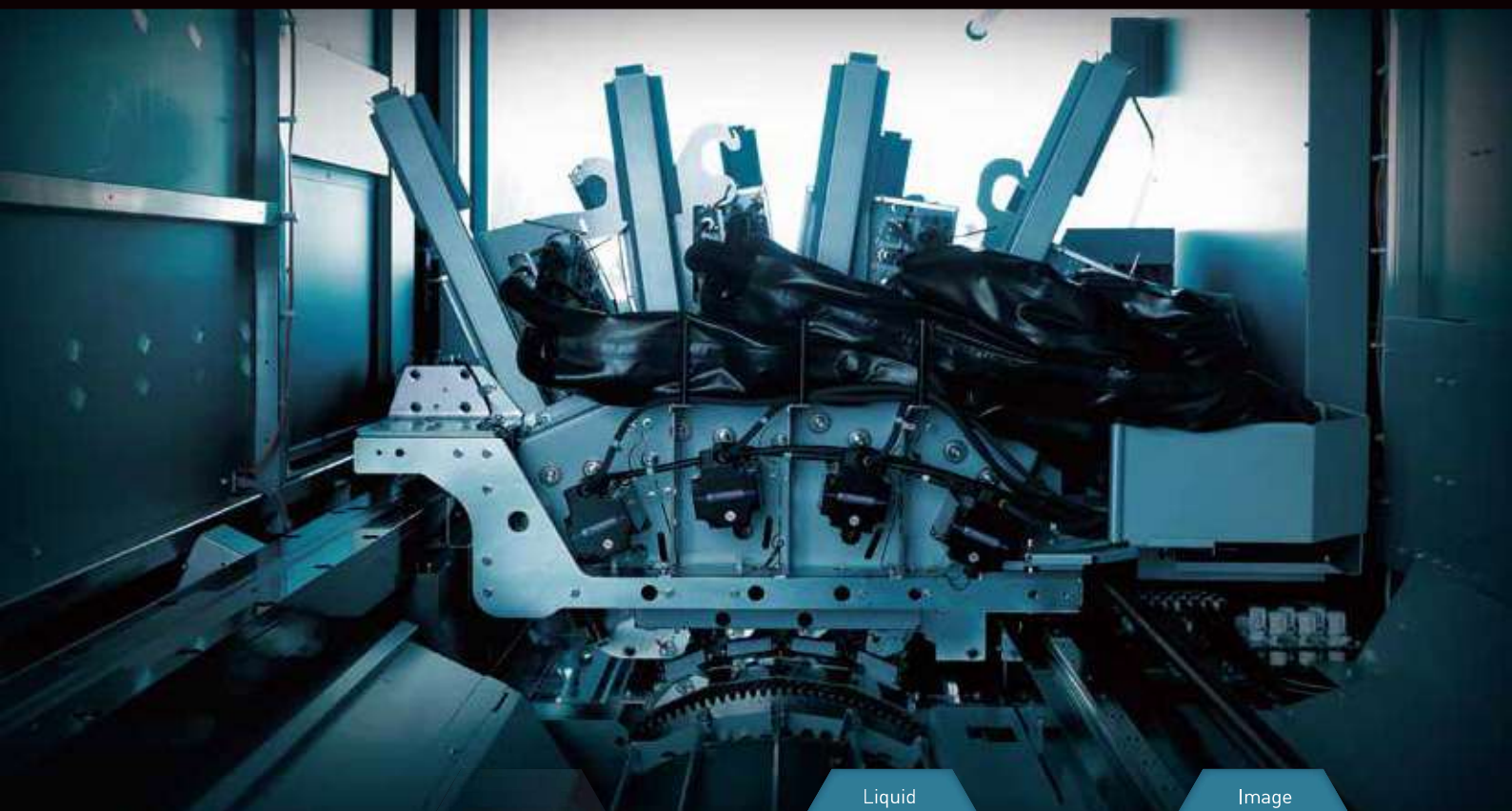


デジタル印刷機に革新的パフォーマンスをもたらす
高品質・高速・高信頼のインクジェットコンポーネント。



Samba JPC Printbar system

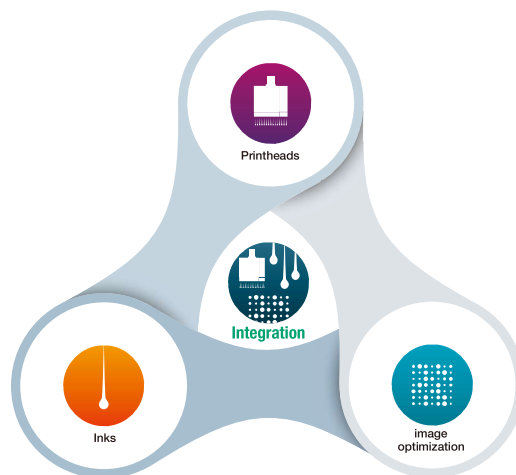
Proven by Jet Press

世界で評価されているJet Pressのインクジェット技術を、デジタル印刷機開発向けにユニット単位でご提供します。

Samba JPCは、富士フィルムが『Jet Press 750S』で培ってきた技術をコンポーネント化したインクジェット描画ユニットです。Samba JPCを活用することで、1200dpi・シングルパス方式で高画質のインクジェット印刷装置を、より短期間で開発することが可能になります。カスタマイズも可能で、お客さまの要望に合わせた最適な構成でお使いいただけます。

富士フィルムグループが持つ高度なインクジェット技術 FUJIFILM Inkjet Technology

富士フィルムは、「プリントヘッド」「インク」「画像処理」というコア技術の研究開発をすべて自社グループ内で行ない、これらの技術を最適な形に統合することで、Jet Pressをはじめとする革新的なシステムを生み出しています。『FUJIFILM Inkjet Technology』は、そのパフォーマンスの高さ、信頼性の高さから、商業印刷をはじめ、パッケージ印刷、サイン・ディスプレイ、さらには印刷以外の産業分野にも活用が広がっています。



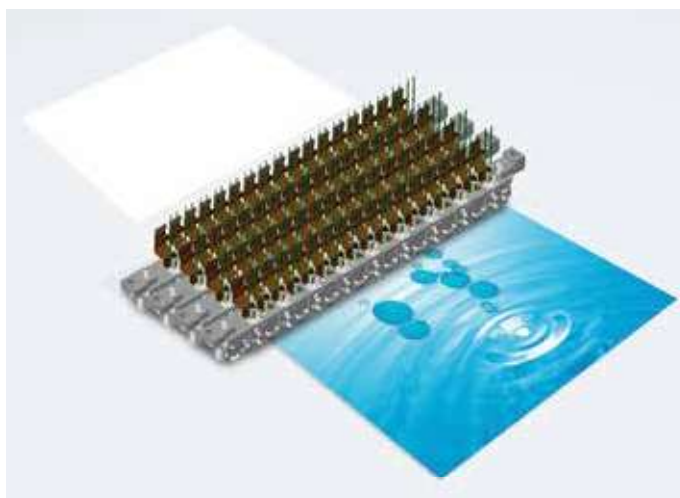
【富士フィルムの大きな強み[3つのコア技術]の統合化】

超高密度・高精度・高速プリントヘッド Samba

インクジェット印刷機の要となるプリントヘッドの開発で重要な役割を担っているのは、産業用プリントヘッドのメーカーとして世界最大の規模、最高レベルの技術力を誇るFUJIFILM Dimatix社。独自のインク循環機構や先進のMEMS技術などの投入により、高性能インクを正確かつ高速・安定的に吐出する、世界最高水準のヘッド性能を実現しています。



Sambaプリントヘッド



Sambaヘッドの卓越した再現性



写真再現

8pt デジタル印刷機に革新
6pt デジタル印刷機に革新的のパフォーマンスをもたらす
4pt デジタル印刷機に革新的のパフォーマンスをもたらす

8pt Samba JPC Prinbar sys
6pt Samba JPC Prinbar system - Proven by Jet Press
4pt Samba JPC Prinbar system - Proven by Jet Press

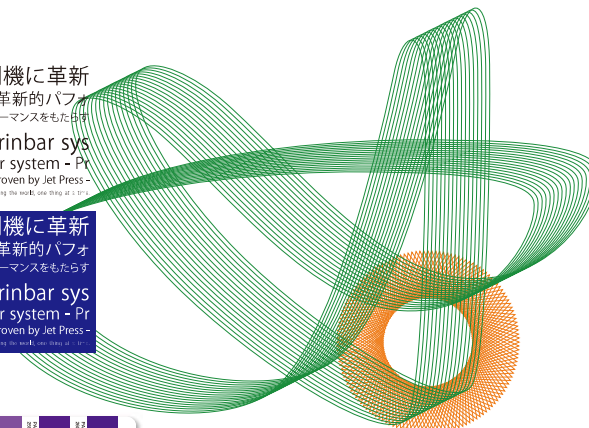
8pt デジタル印刷機に革新
6pt デジタル印刷機に革新的のパフォーマンスをもたらす
4pt デジタル印刷機に革新的のパフォーマンスをもたらす

8pt Samba JPC Prinbar sys
6pt Samba JPC Prinbar system - Proven by Jet Press
4pt Samba JPC Prinbar system - Proven by Jet Press

文字・細線再現



近似色再現





Samba JPC Printbar Systemの特長

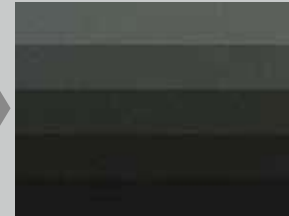
POINT 1

スジ・ムラ補正でヘッド交換頻度を低減できます

シングルパス印字に最適化した独自のスクリーニング技術により、スジやムラを高精度に補正。経時変化による吐出曲がりなど、ノズルに起因するスジを検知し、周辺のノズルで補完するため、高い印刷品質が長期間安定して得られます。スジ補正、ムラ補正を用いることで、機械停止時間を削減でき、生産効率が向上。また、プリントヘッドの交換頻度の低減にもつながり、消耗品コストを抑えることができます。



スジ補正、ムラ補正前
(意図的に多数のノズルをOFFにしています)

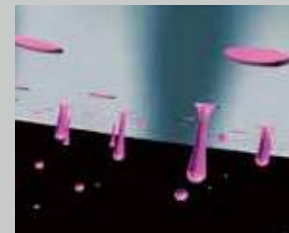


スジ補正、ムラ補正後
(意図的に多数のノズルをOFFにしています)

POINT 2

プリントヘッド位置自動調整で ダウンタイムの削減が図れます

Samba JPCには、プリントヘッド位置自動調整機能を新たに搭載。インラインスキャナで読み取ったテストパターンを元に、交換したプリントヘッドを最適な位置に自動調整します。これにより、簡易な作業でプリントヘッドを交換することができるとともに、ダウンタイムを大幅に削減することができます。



POINT 3

出力安定性に優れたシステムを 短時間で開発できます

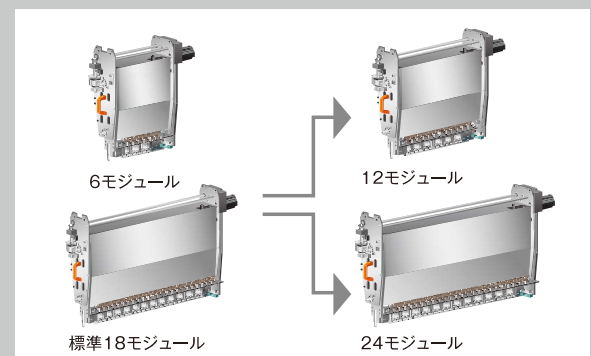
出力安定性を高めるには、信頼性に優れた描画ユニットが不可欠ですが、その開発には極めて高度な技術と多大な時間・コストが必要です。Samba JPCには、プリントヘッドを最適な状態に維持するための独自技術が凝縮されており、これらのユニットを用いることで、つねに高い吐出精度を発揮できる高信頼の印刷装置が短時間で開発できます。



POINT 4

ご要望に合わせて設計をカスタマイズできます

Samba JPCには、10インチ(254mm)、30インチ(762mm)の印字幅を持つ標準ユニットを用意していますが、お客さまのご要望に合わせて、任意の幅のPrintbarを設計することが可能です。また、周辺部分の設計・製造も承ります。



■Samba JPC Printbar Systemラインアップ

お客様の用途に応じて、1ユニットからでも導入が可能です。

ユニット	イメージ図	主な機能
プリントバー		<ul style="list-style-type: none"> •Sambaプリントヘッドを最適な波形で駆動する。 •Sambaプリントヘッドの交換を容易にする。 •記録媒体とSambaプリントヘッドとの距離を適切に保持する。 •プリントバー内において、Sambaプリントヘッドを適切な位置に位置決めする。
液循環ユニット		<ul style="list-style-type: none"> •インクの背圧を適正に保つ。 •インクを適切な条件で循環させる。 •インク中の異物を除去する。 •インクの脱気をする。(真空ポンプは別途ご用意ください)
ヘッドクリーナー		<ul style="list-style-type: none"> •Sambaヘッドのノズル面をクリーニングウェブで清掃する。 •ヘッド洗浄液をクリーニングウェブに供給する。
キャッピングユニット		<ul style="list-style-type: none"> •Sambaプリントヘッドを保湿する。 •保湿部に保湿液を供給する。 •保湿部から廃液を排出する。 •Sambaプリントヘッドからパージされた液を受容する。
画像処理ソフトウェア		<ul style="list-style-type: none"> •シングルパスに最適なスクリーンを提供する。 •スジ・ムラを補正する。 •Sambaヘッド間の相対位置を測定する。
インラインスキャナ		<ul style="list-style-type: none"> •スジ・ムラ補正パターン画像を取得する。 •Sambaヘッドの位置測定パターン画像を取得する。

■インクの組み合わせ例

Samba JPCではSambaプリントヘッドに最適化した各種インクをご提案しますが、お客様のインクも使用可能です。

用途	記録媒体	インク種類	特徴
紙器、商業印刷、出版等	コート紙、上質紙	水性顔料ラテックスインク+プレコンディショナー	超高画質、食品安全性
商業印刷、出版等	コート紙、上質紙	水性顔料ラテックスインク	高画質、高速印字
商業印刷、出版等	上質紙	水性顔料インク	高速印字、低ランコスト
軟包装等	プラスチックフィルム	水性顔料ラテックスインク+プレコンディショナー	超高画質、食品安全性

※プレコンディショナー:記録媒体の風合いを殆ど変えることなく画質を向上させる、当社開発の前処理液です。

■印刷条件と印刷速度

条件		印刷速度	
プレコンディショナーあり	スジ補正あり	1200 x 1200 dpi	43m/min
		1200 x 600 dpi	55m/min
プレコンディショナーなし	スジ補正あり	1200 x 1200 dpi	60m/min
		1200 x 600 dpi	75m/min
	スジ補正なし	1200 x 1200 dpi	110m/min
		1200 x 600 dpi	160m/min

※上記速度はインク種類、インク吐出波形により異なります。

FUJIFILM

富士フイルム株式会社

●本製品についてのお問い合わせは
 インクジェット事業部 〒106-8820 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル TEL:03-6419-0530
 E-mail: ff-ijhead@fujifilm.com

※記載の商品名および社名は、各社の登録商標または商標です。
 ※このパンフレットは Jet Pressで印刷しています。

ホームページ <http://fujifilm.jp>

2020年1月